

△産業宣教 御座と時空超越 (マタ 28:1-20)	△レムナント伝道学 たましいを生かす祈り (創 1:27)	△核心 聖霊の働き (使 1:8)	△散らされた弟子たち 私の 237
□序論 1. 不信-ほとんどの信徒、産業人が、時空超越、御座を正しく信じない。 1) 誤った祈り-この答えを分からなければ、誤った祈りをするようになる。 2) 誤ったみことばを握るようになる。 3) 誤った力を持つようになる。 2. 奪われた力 1) 3 団体は、時空超越を知って瞑想運動をしている。 2) 彼らは気功運動をして疎通する。 3) 彼らは超能力を使う。 3. 聖書で最も重要に教えた契約は何か 1) まことの祈りは、神の国が成り立つことだ。これが時空超越だ。 2) 神様のみことばの鍵は三位一体の神様 (Trinity) がどのように働かれるかだ。 3) 力 (1) 1・3・8 キリスト、神の国、ただ聖霊を味わう祈り (2) カルバリの丘・オリーブ山・マルコの屋上の部屋 (3) 三つの祭り 過越祭と仮庵祭はすでに来ている。現在、私が味わうのは五旬節だ。この部分を分かるならば、揺れる理由はない。すぐに答えは来ない。そのときに、だまされてはならない。 □本論 1. 流れ-レムナント 7 人は、時空超越のみことばと祈りを正しく味わった。 2. 完成 1) マタ 28:16-20 天と地のすべての権威がわたしには与えられていると言われた。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます」 2) マコ 16:15-20 「弟子が、いたるところで福音を伝えるとき御座に着かれた主が働かれた」これが時空超越だ。 3) 使 1:1-8 3. 持続 (永続) 時空超越は今でも持続して永遠に持続する。 1) 最もよく味わったパウロが神の国について大胆に説明 (使 19:8) 2) 重職者パウロを助けた産業人は、世界福音化に産業が用いられたこと自体が祝福 3) 使 17:1、18:4、19:8 会堂でキリストの当為性、安息日、神の国について説明 □結論 <u>金(土)日</u> すべての重職者産業人は土曜日だけでも時間を出して集中しなさい。次世代とフォーラムをして、専門家と話して、祈りが何か確認して教えなければならない。 1. 時空超越とりなし祈り (ピリ 1:3-4) が何か分かるようになる 2. 時空超越するみことばの力と祈りを分かち合え、237 と 5000 種族を福音化する御座の力が私に臨む。これが時空超越の伝道だ。 3. 時空超越神殿を分かち合え、三つの庭が見える。	創 1:27 の神のかたちとして造られたのが人だ。これがないと動物だ。 □序論 <u>やぐら</u> を建てなさい 1. 祈り <u>神の国</u>-プラットフォーム 祈りを分かれば、神の国を知って、時空超越もなる。神の国が臨めば、プラットフォームになる。 2. みことば <u>神様</u> (光) -見張り台 みことばの核心は三位一体の神様が働かれること。光が現れるので、見張り台が作られる。 3. 証拠 <u>証人</u>-アンテナ これを味わえば証拠が生まれて、自然に証人となって他の人と疎通できるとアンテナだ。 □本論 1. 創 1:27 1) 神のかたちを回復 2) 本来の人間を回復 3) 本来の力を回復 2. 創 2:7 「いのちの息を吹き込まれた」 1) 創造の力を回復 2) エデンの祝福を回復 3) 祈りの生命力を回復 3. 創 2:18 1) <u>アダム</u> 2) <u>エバ</u> 3) <u>家庭</u> △一番最初に与えられたシステムと社会が家庭なので、サタンが攻撃した。今も、そのためにレムナントは家庭環境と関係なく根本的な使命を悟らなければならない。 □結論 1. 創 1:27 一番最初に神のかたちを回復しなさい。 2. 創 1:28 地を征服して、治めなさい。初めて与えられたみことばだ。 3. 学業-証拠-私たちの学業はこれからの証拠を作ること、それゆえ、神様が造られた私、私のこと、私の現場だけ見つければ良い。	□序論 <u>霊的成長</u> (I コリ 3:1-3) <u>霊的年齢</u> 教会に来て人の話をたくさん聞けば、助けにはなるが、霊的な部分が絶対育たない。聖霊の働きによってだけ、できることなので「ただ聖霊があなたがたの上に臨めば」 1. 聖霊の働き 1) 三位一体の神様の霊で働き 2) 三つの祭り-救われた人に聖霊の働きで力が生まれること、御座の祝福が背景 3) 永遠に私たちとともに 2. 聖霊がなさること 1) ヨハ 14:16 もうひとりの助け主を送る。 2) ヨハ 14:26 すべてことを教えて 3) ヨハ 16:13 すべてのことを思い起こすようにする。 3. 地の果てまで証人になる力を与えられる (使 1:8) 4. 問題 1) 反復説-初代教会の聖霊の満たし体験 2) 単回説-マルコの屋上の部屋に聖霊が臨んだから終わったこと 3) 永続説-聖霊の働きは、昔から今まで永遠に続く。この祝福を逃して霊的に子どもと同じだ。 5. 事故→<u>ネフィリム</u>の働き 1) 3 団体 2) シャーマン 3) 偶像の力 ヨハ 8:44 すべて悪霊の働き、だますこと。結局、人間を崩す。 □本論_世界変化させた弟子たち-福音、契約を持った者にだけ与えられる力 1. 旧約時代 1) 創 41:38 ヨセフ。この力だけあれば良い。信じて「必要だ。これがすべてだ」と悟れば良い。 2) 出 5:1-12:46 80 歳になったモーセ。 3) I サム 3:19 幼いサムエル 4) I サム 16:1-13 青少年のときにこの体験をしたダビデ。クリスチャンがこれを価値がなく見るから、うまくいかない。神様が与えられる力を味わってこそ、すべてのことがついてくる。 5) II 列 2:9-11 絶対にこの力でなければならぬと悟ったエリシャードタンの町運動、戦わずにアラムに勝利 6) ダニ 1:8-9 これを祈ったダニエル-王たちに影響 7) 使 1:8 他のことではできない。私に必要な力は「ただ (しかし)」 2. 新約時代 1) 内住 (I コリ 3:16) -聖霊が私の中に住まれながら 2) 導き (ヨハ 14:16) -私を導き。聖霊の導きだけを受ければ良い。 3) 満たし (使 1:8) -聖霊の導きを受けて出てくること。それが力 3. 実 1) 使 1:14 120 人で世界変化 2) 使 2:1-18 15 か国の人で 237 変化 3) 使 6:1-7 聖霊に満たされた重職者を立てて世界変化 4) 使 11:19 世界を生かす教会を建てられた 5) 使 13:1-4 地球上初めて開かれた宣教の門 □結論 1. ユダヤ人の滅亡 2. ローマのわざわい 3. 最高の呪い (戦争) 防ぐのも福音 今から聖霊が私に臨まれるように祈りなさい。それだけすれば良い。 <u>三位一体、御座、時代、5 力、宇宙の力が臨むように祈れば、メッセージ</u>、産業、学業みな出て来る。	<u>70 地域 (弟子)</u> 今から毎日祈り。ある日、実際の 237-道が見える □序論_70 地域が一つずつ開かれれば祈りのやぐらを築くようにさせるべき 三位一体 <u>神の国</u> 3 時代 このやぐらを作らせる-すると時空超越の答えから先に来る。 □本論_そして、弟子が出てくれば集中の集まりを始めなさい 1. 使 1:3 1) 御座の祝福が私に臨んだことを指して 2) 神の国 3) 神の国のこと 4) ミッション 5) 場所まで出てきた。 2. 使 2:9-11 には誰が 1) 1・3・8 カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋が含まれている 2) 15 か国の門が開いた。 3) 未来 (使 2:17-18) が見える。 3. 使 11:19 1) 迫害と患難が起こったが、伝道だけしたのではなくて 2) 異邦人の門が開いた。 3) この人を通して世界宣教すればよい。 □結論_最後の<u>集中癒やし</u>をしてあげるべき 1. 刻印されたことであっても変えなければならない。すると 2. 根 3. 体質はついてくる。

△区域メッセージ (第 24 週) 神の統治と 25 の答え (詩 139:1-8)	△聖日 1 部礼拝 世の中に映る信徒 (I コリ 4:1-5)	△聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 偶像文化を防ぐ神殿 (I コリ 8:1-13)
□序論 障害物 絶対主権 △私たちの悩みが何か。その悩みを最高の機会にしない。このとき、障害物ができる。この障害物を解決する方法は、神様の絶対主権を信じることだ。絶対主権を信じればすべての解釈が変わる。過去、今日、未来が違ってくるように見えて、味わいが変わる。これを「神の統治と 25 の答え」と言う。確実な考えが信仰に変わらなければならない。 □本論 1. 隠れたやぐら—信仰の道 目に見えない隠れたやぐらを作って、神様の働きを信じる信仰に従って行きなさい。この信仰は救われる信仰、神様の力を信じる信仰、神様が私たちの生活と生死禍福を主管されるのを信じる信仰だ。 1) 族長時代 (創 22:1-21) アブラハムは息子をささげれば、神様が生かされることを信じた。 2) 王政時代 (ダニ 1:8-9) 神様の絶対計画があるので、私たちは信仰の道を行く。 3) 新約時代 (使 1:14) バプテスマのヨハネをはじめとして、神様の絶対契約を信じる人を通して変化して、その人々が世界を福音化した。 4) 初代教会 (パウロ) 霊的世界を知っている人々だ。 2. 崩すやぐら—不信仰 1) カデシュ・バルネア (民 14:1-10) ほとんど、ここで不信仰になったが、ヨシュア、カレブは、行くことができると言った。乳と蜜が流れる地、神様が私たちに与えられた地、本来、私たちの地だと言った。彼らは恐怖に襲われていると言った。この二人は見る目が違った。 2) アカン、コラ、バラム—盗み、反逆者と反対運動して、預言者がお金を受け取って神様の民を呪う所で手伝った。こういう道に従って行ってはならない。 3) アナニア、サッピラ 4) コルネリウス—恵みを受けた教会信徒も、コルネリウスの家に行ったことで話を作って騒々しくした。 3. 生活のやぐら (味) 1) 今日の祈り 2) 今日のみことば 3) 今日の伝道 (証拠) △地球上にない教会を作りなさい。隠れたやぐらを建てなさい。不信仰のやぐらは崩れなさい。学業、職業、産業に実際のやぐらを建てなさい。福音を悟れば、他のすべてが必要ない。 □結論 すべてのこと 1 人が祈りができるならばすべてを変えて生かすことができる。1 人が霊的力があれば、すべての力に勝つことができる。本当に霊的力があれば暗闇の勢力が崩れるしかない。サタンの勢力は縛られるようになっている。	□序論 1. 人が見るときに、キリストのしもべ、神の奥義の管理者—会う人の運命を変えること 2. キリストのしもべ、神の奥義の管理者 1) ヨセフを見てポティファルが「主があなたとすべてのことにともにおられるのだな」と言ったし、ファラオ王は「神の霊が宿っているこのような人が、ほかに見つかるだろうか」と言った。完全にエジプトの運命がひっくり返すようになる時間だ。 2) ダビデを殺そうとしたサウル王も「神様があなたを祝福されるだろう」と言った。 3) ダニエルと三人の同僚を見て「シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴの神様をほめたたえよ。ダニエルが信じるその神様をほめたたえよ」と言った。 3. このときから知ようになる祈りの奥義 1) 御座と神の国のこと 2) 時空超越の奥義 3) 237 □本論 空前絶後の答えが来るとき 1. キリストの力が現れるとき、運命が変わる。 1) キリスト—王・祭司・預言者 2) 御座の祝福、時空超越、237 の力、空前絶後の答えを味わうようになる。 3) 創 3:15、出 3:18、イザ 7:14、マタ 16:16 が現れるとき 4) イエスに会って弟子に変わったパウロ (I コリ 4:1) △全国、世界で葛藤する教会は、今日、この答えをおろすように願う。皆さんが直接、この祝福を受けなければならない。完全に御座の祝福が臨むのは、キリストの力が現れるとき、暗闇がみな崩れる。 2. 神様の奥義が伝えられるとき—神様の動機を握るとき 1) 未信者が見て悟るようになる。 2) 天の軍勢が動員される (詩 103:20-22) 3) 出エジプトの働き、当然、崩れるエリコ、分かれるヨルダン ※判断される方は神様しかないから、キリストが臨まれる前に何も判断してはならない。 3. 管理者、神様の絶対計画を持っているとき 1) 管理者—神様の絶対計画を持っている絶対信徒 2) 神様の絶対計画を尋ねること—ただを分かる者だ。完全にサタンにみな奪われたことを回復する驚くべき時刻表だ。 3) 忠実—いのちをかける価値を知っている人が、いのちをかける働き □結論 運命をひっくり返す質問 1. なぜ私の家に霊的問題を与えられたのか。世界の霊的問題を解決する主役になりなさいということだ。 2. なぜ私の家に障がい者が与えられたのか。障がい者世界福音化をしないということだ。 3. 神様の民が貧しくて無能で病気になる苦勞することに対する答えを今日、受けるべきだ。	祈りの中で長い呼吸を継続しなければならない。暗闇のやぐらを倒して祈りのやぐらを建てるのがなければならない。霊的エネルギーがあふれてこそ、みな生かすのだ。聖日だけでも集中して祈れば、癒やし、力すべてをすることができる。偶像崇拜者は間違ったことを握って祈ってネフィリムに満たされる。この状態で偶像文化を作り出すと、人々 (霊的幼子) がそこに行くのだ。全部、精神問題が来たので、偶像文化を防ぐ神殿を作ろう。 □序論 偶像神殿 でいけにえをささげて、お供え がとても多くて売った。教会でこのお供えを食べてはならないのか、よいのか 争い が起こった △偶像を防ぐシステムなしで紛争だけをするのだ。 1. 神様が答えられるしかない契約を正確に握るべき 2. 世の中を生かせるように霊的成長と霊的力を受けることが重要 3. 次世代 (今、韓国と全世界を生かすか、殺すかの絶好の機会) 神殿建築の後に、全世界の 門を閉ざす教会 を生かさなければならない。 □本論 神様が答えられるしかない神殿 1. 永遠の契約 がある神殿 1) 至聖所 (契約の箱) の中には契約の箱がある。 2) 聖所 (いのち)—洗盤、パンの机、燭台があり、その上に油を塗る。 3) ヘブ 6:19 (垂れ幕)—イエスが十字架で処刑されたとき、至聖所と聖所の間の垂れ幕が裂けた。隔ての壁を完全に壊して、神様に進むことができる門を開けられた。誰でも、来て恵みを受けることができる神殿。そして、イエス・キリストの御名で祈り 2. 三つの庭 がある神殿 1) 祈りの庭 (癒やされる人々が祈りができるべき) 2) 子どもたちの庭 (レムナントをサミットに育てるべき) 3) 異邦人の庭 (237 か国が来ることができるべき) △すべての重職者は一つの国、一つの種族を引き受けなさい。その方の名前と資料を教会の中に作っておくべき。237 と次世代が来て、見て、訓練を受けて出て行くことができるべき 3. やぐら がある神殿 1) イザ 62:6-12 「やぐらの上に見張り人を立てなさい。道を整えなさい。万民が来ることができるように旗を揚げなさい。終日終夜、主に叫びなさい。」 2) 三つの庭が 24・25・00 あるようにさせなさい。 3) 237 が来るしかないプラットフォーム、光を持っている見張り台、神様と疎通するアンテナ □結論 見張り人になりなさい。 1. RT—7 つを教える準備 2. 237 の指導者 が訪ねてきて、見るがある教会 3. 病気の者が悪い—病人だ者が来て、祈って、休めるようにする教会 △内容が重要で、誰がするかがさらに重要だ。ただ福音の力を知っている人が恵みを受けるように作るべき